

台風第3号に対する農作物被害防止に向けた技術対策

平成29年(2017年)7月3日
山口県農林水産部

1 水稲

事前対策	事後対策
<p>1 深水にして湛水管理を行う。特に、極早期コシヒカリは穂ばらみ期～出穂始となるので湛水管理を徹底する。</p> <p>2 田植え後の日数が浅い稲も強風による植え傷みや脱水症等の風害を防ぐために、冠水しない程度の深水状態で管理する。</p> <p>3 迅速な排水ができるよう、排水路の点検、整備、清掃を行う。</p> <p>※1、2については水利状況に応じ、可能な限り対応すること。</p>	<p>1 台風通過後は、速やかに排水し、通常の水管理に戻す。</p> <p>2 潮風害が発生した場合は、速やかに洗い流す。</p> <p>3 干拓地等で海水流入が生じた場合は、速やかに排水し、清水を入れ、かけ流しを行う。</p>

2 大豆

事前対策	事後対策
<p>1 迅速な排水ができるよう、排水路の点検、清掃を行う。</p> <p>2 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。</p>	<p>1 台風通過後は速やかな排水に努める。</p> <p>2 発芽前に冠水し、発芽障害を受けた場合は、播き直しを行う。</p>

3 施設野菜・施設花き・施設果樹

事前対策	事後対策
<p>1 防風ネットの点検・補強を行う。</p> <p>2 ハウスの点検・補強を行う。</p> <p>(1) ハウスバンドの締め直し、両妻面の補強</p> <p>(2) サイドビニール、天井ビニールの点検、修繕</p> <p>(3) 筋交い、補強支柱の取り付け</p> <p>3 施設周辺の片づけを行う。</p> <p>4 停電に備え、発電機等の確保、準備をしておく。</p> <p>5 進路や風の強さ等、今後の情報に注意し、必要に応じて被覆の除去を行う。</p>	<p>1 施設各部の破損、緩み等を点検し、補修する。</p> <p>2 病害の予防防除を行う。</p> <p>3 施設が浸水した場合は、速やかな排水に努める。</p>

4 露地野菜・露地花き

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 防風ネット・支柱、フラワーネットの点検、補強を行う。2 収穫期の果実の若どりを行う。3 苗床、定植直後の本ぼでのべた掛け資材の被覆を行う。4 潮風害に備え、用水の確保と動力噴霧機の準備を行う。5 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。6 定植、間引き作業を延期する。7 リンドウの遮光資材を一時的に撤去する。	<ol style="list-style-type: none">1 支柱の立て直し、倒伏した株の引き起こしを行う。2 傷果・葉、破損枝を除去する。3 播種直後や生育初期のものは、被害状況により播き直しを行う。4 草勢回復のため液肥を葉面散布する。5 病害の予防防除を行う。6 潮風被害後、速やかに散水する。7 ほ場の速やかな排水に努める。

5 露地果樹

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 防風ネット、果樹棚、マルチ等の点検、補強を行う。2 潮風害に備え、用水の確保、動力噴霧機の準備、動力源の確保に努める。3 幼木や高接ぎ樹の支柱点検、補強4 ほ場外排水の円滑化を図る。5 収穫期に近づいているものは、状況によって早期収穫を行う。6 病害の事前予防散布（カンキツかいよう病等）を行う。	<ol style="list-style-type: none">1 枝折れ除去、倒伏木の引き起こし処置を行う。2 断根樹に対する速やかな灌水、敷き草を実施する。3 病害の予防防除を行う。4 潮風被害樹へ速やかに散水を行う。5 施設各部の破損、緩み等の点検・補修を行う。

6 畜産

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 畜舎や堆肥舎は、風雨に対する補強と周辺水路の整備を行う。2 搾乳施設等は、停電に対応できるよう発電機の準備を行う。3 飼料畑は、排水路の点検、整備を行い速やかな排水ができるようにする。	<ol style="list-style-type: none">1 畜舎や堆肥舎が浸水した場合は、通風換気等により乾燥を促進する。2 畜舎消毒等による疾病の発生予防を行う。3 収穫適期頃の牧草類等は、天候の回復状況を見て適期に収穫する。4 飼料畑は、速やかに排水を行う。